

# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (三次市立神杉小学校)

- ① 教科等 国語科      ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 お話の人物を自分と比べて読み、感想文を書こう 「わたしはおねえさん」
- ④ 本時の目標 おわりの場面のすみれちゃんの歌詞を考えるを通して、妹のぐちゃぐちゃの絵を笑って受け入れたすみれちゃんの成長に気づき、おねえさんとしての思いを表現することができる。
- ⑤ 学習の流れ (5時間目/全9時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 始めの場面のすみれちゃんが作った歌詞を想起し、終わりの場面のすみれちゃんが歌を作るとしたらどんな歌か、提示された歌詞を見て意見を出し合い、課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・叙述とずれている三つ目の歌詞を提示して、自分がすみれちゃんだったらどう作るか疑問を引き出す。</li> <li>・読書感想文のプロットを示し、本時の学習が全体の構成のどの部分に位置付くかを示す。</li> <li>・歌詞の一部を固定させて、「～おねえさん」を考えるように、学習の方向性を示す。</li> </ul>	<p>※単元を貫く言語活動として、読書感想文を書く活動を設定し、1時間の授業の中で物語を読み取りながら、プロットの一部を書き進めて完成させていく。</p> <p>【読書感想文のプロット】</p> <p>○ はじめの文 ○ 人物がどう変わったか ○ 心に残った場面 ○ 表現 ○ 本時：すみれちゃんのおねえさん ○ 人物と自分とのかわり</p>
2 かりんちゃんがノートに絵を描いた場面を音読し、すみれちゃんがどう変わったかを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すみれちゃんがノートの絵を見た時、すごく怒ったでしょうね。」と揺さぶり、始めは半分泣きそうで半分怒りそうだったけど、じっと見るうちに、絵がかわいく見えてきたすみれちゃんの気持ちの変化をとらえさせる。</li> <li>・すみれちゃんが妹の絵を見て変容する場面を音読させ、歌詞につながる大事な言葉に線を引かせて、歌詞を考えるヒントにさせる。</li> </ul>	
3 ( )に入る言葉を考え、歌詞を作って交流する。 わたしはおねえさん (すてきな) おねえさん (えらい) おねえさん (妹をかわいがる) おねえさん (わらってゆるせる) おねえさん すごいでしょ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線を引いた箇所をヒントにし、すみれちゃんの三つ目の歌詞を考えてノートに書かせる。</li> <li>・ペアトークで、自分の作った歌詞を交流させることにより、考えを広げさせる。</li> <li>・全体交流で、はじめの歌詞と比較させて、すみれちゃんは変わっているか問いかけることで、成長を的確に表現できているか確かめさせる。</li> </ul>	
4 友だちの考えを聞いて、自分の作った歌詞を修正する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの作った歌詞を聞いていいと思ったものや、板書をヒントにして、自分の歌詞に修正を加えさせる。</li> </ul>	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 人物になりきって歌詞を考えるを通して、人物の心情の変容を自分の言葉で表現することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 教材の特質と単元全体で育てたい力に合わせた、単元を貫く言語活動を設定し、その活動につながる言語活動を毎時間の授業の中に位置付ける。
- 思考を深めるための発問とその手立てを工夫する。
- ノートを活用して個人思考の場を確保し、ペア・グループトークや全体交流で、思考を深めたり広げたりしていく。